



ボランティア国際年



2001

## 2001年は ボランティア国際年です

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



ボランティア国際年の  
マスコットキャラクターです。



三重県内各地で次々に生まれつつある  
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

### 伊勢志摩NPOネットワークの会 (PO・NPO・N事務局)

伊勢市

伊勢志摩NPOネットワークの会は、ワークショップの手法をつかった検討委員会を重ね、市民活動のネットワークに求められる機能を満たすことを目的に平成11年9月に設立しました。財源もなく、会員それぞれが既に活動をしていたため、余力のない現状のなかで動きだしましたが、南勢志摩県民局生活環境部内に事務局を置くなど行政の力を借りることで、ネットワークとしての基盤を固めることができました。また、平成12年12月には地元企業の支援によって念願の独立事務所を設置し、自立した事務局機能の基盤を固めることができました。このように、市民・行政・企業の連携が、理想だけではなく実践されたことで、会の運営は支えられてきました。これまでの活動目的の一つに「NPOとNPO、行政とNPO、企業とNPOをつなぎたい」というものがありましたが、今年度からは「個人とNPOをつなぎたい!」という目的が新たに加わりました。今は、この目的が実現できるような具体案を練っているところです。地域の課題を考える視点。そんな視点をもてる個人の行動力が、NPOを推進し、市民活動の能力を高め、ネットワークの原動力にもつながります。

今年度は、責任ある個人の発掘と養成に力を注ぎ、ネットワーク機能として自立する力をさらに強めていきたいと思います。

●周辺状況／御木本製菓株式会社本社敷地内別棟1階所在。駐車場は同社従業員駐車場を利用。最寄り駅はJR参宮線五十鈴ヶ丘駅(徒歩3分)

●開設時間・休日／開設時間:正午～PM8時 休日:水曜、日祝日

●施設設備／電話、ファックス、コピー機、パソコン、プリンタ、事務機×2、会議機×2、書棚

●機能／大目的としては、NPOのいづく地域社会を広域的・自立的に創造するために、NPO相互と行政、企業が手をつなぎ補完しあうネットワークであり、それを達成するために以下の機能を果たすことを目的としている。

1. 市民活動に関する情報センターとしての機能 2. 交流センターとしての機能 3. 事務局機能

4. 行政との窓口機能 5. 活動財源調達および配分機能

●活動状況／1. 正会員による隔月定例会、正会員が運営する専門委員会の開催(総務広報、セミナー、個人ボランティア推進、会員拡大)

2. 南勢志摩地域のNPO情報誌「伊勢志摩ぼんぼん通信」の隔月発行

3. メーリングリストによる日々の情報交換

(MLに登録していない会員にはFAX通信を発行)

4. NPOに関するセミナーの開催[地域への出前セミナー(年間複数回)・行政職員のNPO研修セミナー(年間複数回)・ぼんぼんフォーラム(年1回)]

5. 個人ボランティアとNPO活動を繋ぐ事業 6. 会員NPO相互の交流および互助

●所在地／516-8581 伊勢市黒瀬町1323-4

●Tel./0596-20-6616 ●Fax./0596-20-6617



事務所内部

#### ◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO担当ホームページ

http://www.mienpo.net/

三重県のホームページ

http://www.pref.mie.jp

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。



# ボランティア国際年

## 2001年ボランティア国際年 みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に取組まれるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先/2001年ボランティア国際年みえ推進協議会 514-0009 津市羽所町700 アスト津3F 三重県ボランティアセンター内

Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635

E-mail mvc@miewel.or.jp

ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>

# イベントスケジュール

## NPOマネジメント講座のお知らせ

### 「自分で深める、市民活動・NPO探検隊」

●とき/初心者コース:10月16日(火)~1月22日(火)午後全6回

中級コース:10月17日(水)~1月23日(水) 午後全6回

上級コース:10月16日(火)~1月22日(火) 夜全6回

(一部講師によっては、時間が違います。)

●参加費/無料(講師によっては、資料代をご負担いただくことがあります)

●内容/自己発見-自己学習-成果の共有というプロセスを経て、自発的に学習することで、より深く「市民活動・NPOを理解する」ための講座を開催します。NPOって何だろうという人から、運営にたずさわる人まで、さあ、NPO探検隊出発!講師は服部則仁さん、井上淳之典さん、海山裕之さん、矢島正浩さんです。

※四日市市委託事業なので、受講は四日市市民、在勤、在学優先です。

●申込締切/10月5日(金)詳しいことはお問合わせください。

●申込・問い合わせ先/NPO法人地域づくり考房みなと(辻本)

Tel.0593-50-0201 E-mail [tujimoto@terakoyapro.net](mailto:tujimoto@terakoyapro.net)

## 第2回全国地域通貨サミット

### あったかマネー区“ほんまち”祭

●とき/10月20日(土)、21(日)

●ところ/四日市・本町プラザ、本町通り商店街、JR東海・四日市駅

●参加費/各回2000円 4回通し6000円

●内容/昨年全国から地域通貨サミットのために80名の方が、集まっていただきました。今回は、第2回を実務的な内容で開催します。また、地域通貨の実際の取引を体験していただけるように、“ほんまち”祭も同時に開催します。シップ市として、市民活動屋台村&フリーマーケットも予定しております。

※シップ市の出店者も募集しています。

●申込・問い合わせ先/NPO法人地域づくり考房みなと

510-0045 四日市市蔵町14-17 市民活動センター

Tel.0593-50-0201 Fax.0593-50-0203

E-mail [minato@terakoyapro.net](mailto:minato@terakoyapro.net)

## 第4回伊勢の伝統の能楽まつり開催

●とき/10月20日(土) PM1:00~PM4:30

●ところ/伊勢市生涯学習センター(伊勢市黒瀬町)

●参加費/無料

●内容/能「羽衣」狂言「薩摩守、末広」仕舞、連吟  
450年の伝統を有する一色能、通り能、馬瀬狂言が大同団結して平成10年6月に「伊勢の伝統の能楽を継承する会」を結成毎年定期的に発表会を開催今年度は4年目を迎えます。この継承会は三つの団体がお互いの交流を図り協力して由緒ある能楽の保存継承に努めるとともに地域の文化の振興と活性化に役立っています。

●問い合わせ先/伊勢の伝統の能楽を継承する会会長 土谷喜八郎 Tel.0596-22-1720

## ボランティア国際年記念イベント事業

### 第5回わたぼうしコンサート in伊賀

●とき/10月21日(日) 開演PM2:30

●ところ/上野市文化会館さまざまホール

●参加費/前売:一般1500円、小中高生500円

当日:一般2000円、小中高生700円

チケットは各市町村社協にて8月より販売中

●内容/障害をもつ人たちが日々の思いを綴った「詩」をメロディにのせて多くの人たちに伝えるコンサートです。障害をもつ人たちの詩は、私たちがふだん見失いがちな「生きる力」「命の尊さ」にあふれています。これは社会的に弱い立場に置かれているから見えることであり、障害があるからこそ感じられることなのかも知れません。

●問い合わせ/Tel.0595-45-2656(たち)

●主催/わたぼうしコンサートin伊賀実行委員会、NPO法人わたぼうし

## 「こじれる人間関係」参加者募集

●とき/10月26日(金) PM7:00~

●ところ/四日市市 なや学習センター

●参加費/1000円(資料代)

●内容/澄み切った大空。心地よい風。素晴らしい大自然の鼓動とは裏腹に、私たちの社会はくずれ始めています。暴露される公務員の汚職事件の数々。かつてなかったような残虐なアメリカでのテロ事件。刻一刻とかわりつつある時代の流れの中で、私たちは未来ある子供たちに何を残すことができるのでしょうか?設立3年を迎え、「人」をテーマに記念セミナーを企画いたしました。一緒に学び語り合いませんか?

●募集人数/20人

●申込・問い合わせ先/四日市市馳出町2-2-1

Tel.0593-64-7463(鈴木愛子)

●主催/三重県女性起業家支援クラブ

## 肩掛け人形芝居「ねずみのすもう」

### 腹話術「ハロー! カンクロー」

●とき・ところ/10月27日(土) PM2:30 桜地区市民センター  
10月28日(日) AM11:00 常磐地区市民センター

●参加費/入場料1300円

●内容/今の子どもたちは、テレビ・ゲーム・ビデオ漬けになり生の舞台鑑賞をする機会がほとんどありません。生の舞台鑑賞は、その場に足を運ぶこと、肌触れ合う距離にいて共感し合えること、人が演じることを目のあたりにする感動があります。また親子で共感するという大切な場でもあります。この公演は会員、会員外問わずどなたでも見ていただける機会です。作・演出・出演はくすのき燕。対象は3歳以上です。

●主催／四日市まんなか子ども劇場 四日市市西町15-16  
Tel.&Fax.0593-51-6670

●申込先／514-2211 安芸郡芸濃町椋本4737の2 はじめの一步会事務局 楠井 昇 Tel.&Fax.059-265-2548

## 第三期市民塾開講

【市民塾スケジュール】

- 第1回●とき／10月27日(土) ●テーマ／弁護士と市民の暮らし・市民活動ー弁護士への相談や依頼の方法ー
- 第2回●とき／11月17日(土) ●テーマ／市民の目で見えた日本の裁判官ー日弁連推薦ビデオ「日独裁判官物語」を見てフリートークー
- 第3回●とき／12月15日(土) ●テーマ／行政書士と市民の暮らし・市民活動ー行政書士には何を頼めるかー
- 第4回●とき／1月26日(土)●テーマ／司法書士と市民の暮らし・市民活動ー司法書士には何を頼めるかー
- ところ／みえ市民活動ボランティアセンター(津駅アストビル3階)
- 時間／PM1:30~4:00(うち、質疑や懇談を60分程度)
- 参加費／通し;3000円(「三重からの風」の購読者は2000円)スポット参加者;1回1500円
- 内容／司法を市民の暮らしや市民活動にとって身近なものにするための基礎講座です。
- 募集人数／定員35人
- 申込・問い合わせ先／地方自治ベースキャンプ・宮西俊秀(津市丸之内1-18・Tel.&Fax.059-229-7997)

## 心に響くふるさと、愛のしらべ 胡弓揚琴

—— 新大久保駅 李秀賢さん、関根史郎さんを悼む ——

- とき／10月27日(土)PM2:00~PM6:00(2回公演)
- ところ／アストホール(津駅アストビル4階)
- 参加費／前売2500円
- 内容／鳴尾牧子さんによる二胡と、山本敦子さんの揚琴による演奏会です。中国の曲に加え、荒城の月や弘田龍太郎メドレーなど日本の曲も演奏されます。
- 主催・問い合わせ先／NPO法人 JKCアート Tel.059-293-5144 担当者直通 Tel.090-4084-1370  
E-mail kouho@zvtv.ne.jp  
ホームページ http://www.zvtv.ne.jp/kouho

## <ジェネシス(新世紀)ワインとともに 芸濃より世界平和を願って>

- とき／10月28日(日)
- ところ／安芸郡芸濃町椋本東日寺(三重四国八十八ヶ所霊場第六十番 東海四十九薬師霊場第六番札所)  
※駐車場は芸濃町総合文化センターを利用してください。
- 内容／21世紀を生きる全ての子どもたちの輝く未来を願って造られたジェネシスワイン2000本のうち1本118番が岡崎市、渡会隆広氏より授かりました。そのワインとともに世界平和への思いをこめてあなたの大切な人にメッセージを残してみませんか? 20年後の自分、家族、親友、恋人、生まれてくる赤ちゃんへ声入りテープ・MDや手紙、絵等々。当日は境内でお茶席、人形劇、模擬店が催されます。皆様お誘い合わせの上、御参加ください。開封は2021年10月24日(日)です。
- 持ち物／たまために納める品をご持参ください。なるべくコンパクトをお願いします。
- 申込期間／10月1日(月)~20日(土)まで



## 「佐々木正美先生講演会」

ー自閉症スペクトラム障害の子どもたちの理解と対応ー

- とき／10月28日(日)PM1:00~PM3:30講演・質疑応答
- ところ／小俣町図書館ホール(JR宮川駅より徒歩7分)
- 参加費／前売り:2000円(当日:2200円)
- 内容／学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)高機能自閉症(HFA)について新聞・マスコミで取り上げられています。一見、これら自閉症スペクトラム障害の理解は深まったかのように見えますが、周囲の無理解と不適切な対応によって不適応をおこし、不登校に陥ったり、いじめを受けるなど、苦しんでいる子どもたちがいるのが現状です。今一度、自閉症スペクトラム障害の子どもたちの理解と対応について学ぶ機会をもちたいと企画しました。
- 申込方法／風の広場で聴講券を取り扱っています。来所がご無理な場合は、はがき又はFaxで下記宛お申し込みいただき、当日受付にて聴講料をお支払いください。
- 申込・問い合わせ先／風の広場 516-0805 度会郡御園村高向682 Tel.&Fax.0596-29-0325  
※問い合わせ時間 PM0:30~2:00 PM5:30~6:30
- 主催／佐々木正美先生講演実行委員会

## 「バリアフリー体験セミナー」

- とき／10月28日(日) 午前の部 AM9:30~正午  
午後の部 PM1:30~4:00
- ところ／県上野庁舎4階中会議室及び庁舎周辺(雨天は庁舎内)
- 内容／NPOバリアフリースタジオ「同夢」(県のバリアフリーアドバイザーを中心としたNPO)と伊賀県民局保健福祉部とが協働して、「バリアフリー体験セミナー」を開催いたします。車椅子や疑似体験グッズを使って、高齢者、視覚、聴覚などのバリアとその介助を体験していただきます。ぜひ、この機会に体験を!対象者は伊賀管内にお住まいの方で、小学校5年生以上の方。なお、体験グッズ装着のため、軽装でご参加ください。(スカート不可)
- 募集人数／定員48人(午前・午後各24人、定員になり次第締切)
- 申込期間／10月1日(月)~19日(金)
- 申込・問い合わせ先／伊賀県民局保健福祉部へお電話ください。Tel.0595-24-8074(AM8:30~PM5:00)

## 三重県民生協くらしたすけあいの会 講演会 「中高年の心と体Part2~更年期後から高齢期~」

- とき／11月1日(木) AM9:55~AM11:45
- ところ／三重県総合文化センター フレンテみえ セミナーA室
- 参加費／300円(託児無し)
- 内容／高齢期の心の問題には、その人自身が自分の加齢や老いを、どう受け止め、どう対処しようとしているかにかかっていると云われます。今回は更年期後から高齢期のポイントをしぼり、医療の現場から事例を交えてお話をさせていただきます。講師はいのうえ心身クリニック院長、の井上桂先生です。
- 申込・問い合わせ先／三重県民生協くらしたすけあいの会  
Tel.0598-51-9221 Fax.0598-51-9331(月~金、AM9:00~PM5:00)

## 身障者&健常者第1回福祉DANCE PARTY

- とき／11月3日(土)PM1:30~PM4:30
- ところ／三重県身体障害者福祉センター(津市一身田)

- 参加費／車椅子使用者及び介護者：無料、健常者：募金500円以上
- 内容／車椅子使用者と健常者が同じフロアで社交ダンスを踊ります。多数の車椅子社交ダンスインストラクターがお待ちしています。一般ダンスパーティと車椅子社交ダンス・車椅子社交ダンス・デモンストレーション・車椅子フォークダンス
- 問い合わせ先／車椅子社交ダンス普及会津支部 事務局 長 別所武則 Tel.&Fax.059-232-2444
- 主催／車椅子社交ダンス普及会名張・四日市・津支部

## 「ハルモニ達の想いー従軍慰安婦についてー」

従軍慰安婦のドキュメンタリー映画「息づかい」の上映、講演会

- とき／11月4日(日)PM2:00～5:00
- ところ／三重大学医学部第2講堂
- 内容／今、世の中では日本と韓国の問題について多々取り上げられています。靖国神社参拝や教科書問題…。なぜ、これらのことが“問題”となっているのでしょうか。そのことを考えるため、大学祭で「息づかい」を上映します。この映画は元従軍慰安婦のハルモニ(おばあさん)が同じ境遇に遇ったハルモニ達を訪ね、話を聞いていくドキュメンタリー映画です。当事者同志だからこそ話すことのできた経験、痛みそしてそれを乗り越えてきた強さがあり、今までベールに包まれていた従軍慰安婦の真実を知ることができます。上映後講師の方をお招きして従軍慰安婦について講演していただきたいと思ひます。
- 申込・問い合わせ先／Tel.090-1293-4402(桐) Tel.090-3564-5642(和田)
- 主催／三重大学学祭映画上映実行委員会

## 第3回 食育フェスティバル

- とき／11月10日(土) PMO:50～PM4:00
- ところ／四日市市文化会館 第2ホール
- 参加費／前売500円、当日600円
- 内容／『粗食のすすめ』の幕内秀夫先生講演、食育劇『山田家の食卓』
- 申込・問い合わせ先／四日市市尾平町3689 特定非営利活動法人 フードファイター倶楽部 Tel.0593-32-6452 Fax.0593-33-8068 E-mail ffc@passage.ne.jp
- 主催／特定非営利活動法人 フードファイター倶楽部、地産地消ネットワークみえ

## ネットワークのよびかけ

### ボランティア・市民活動の情報発信をしませんか？

ボランティア国際年三重のまんなか会議では、ボランティア・市民活動へ多くの方が関わっていただくきっかけとして、この地域のボランティア・市民活動の情報CDを作成します。このCDは、パソコンを通じて多くの方に見ていただくことができます。団体情報をお寄せください。(情報掲載料は無料です)

- 募集対象／津市、久居市、安芸郡、一志郡で活動するボランティア・市民活動団体に関する情報(営利を目的とした活動は除きます)
- 募集内容／A4サイズ1枚、様式は自由です
- ・次の事項は必ず記載してください。団体名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、代表者氏名、活動内容、団体からのメッセージ、活動分野、ホームページアドレス(ホームページがある団体)
- ・その他、活動内容のわかる写真等をA4サイズ1枚にレイアウトしてください。
- ・原稿をそのままスキャナーで読み込みますので、印刷状態の良い

ものをご提出ください。鉛筆でなく、ボールペンやマジックをご使用ください。

- ・原稿、写真等はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
- 配布予定先は…情報をお寄せいただいた団体、各地市民活動・ボランティアセンター、津市・久居市・安芸郡・一志郡の市町村・社会福祉協議会・図書館等公共機関、学校等
- 募集期間／9月3日(月)～10月31日(水)
- 問い合わせ先／ボランティア国際年三重のまんなか会議事務局 514-0003 津市桜橋3丁目446-34 津地方県民局内 生活環境部生活労働グループ Tel. 059-223-5081 Fax. 059-246-7866 E-mail:tseikan@pref.mie.jp

## ボランティア大募集!

### レスキューーズ ～ホロコーストの中でユダヤ人救済を選んだ人びとの記録～

- とき／10月6日(土)～10日(水)、11日(木)～14日(日)
- ※時間帯は日によって異なります。
- ところ／津駅前アスト津5F ギャラリー1
- 内容／レスキューーズ展とは、第二次世界大戦中ナチス・ドイツによる大虐殺から、自分や家族の命を危険にさらしてまでもユダヤ人を救った人々(=レスキューーズ)のエピソードを、現在の肖像写真とともに紹介する展示会です。この展示会は栃木県のアウシュヴィッツ平和博物館開館一周年記念として行われ、全国巡回展を開催しています。この度ボランティアと一緒にやってくださる方を広く募集しています。活動内容は当日の会場運営のボランティア、また展示会をポスターやチラシで周囲に宣伝していただく等々、できる範囲で、ご協力いただけると幸いです。高校生、三重大生、社会人など幅広い年齢層の人々が参加しています。少しでも興味のある方はお気軽にお問い合わせください。
- 問い合わせ先／レスキューーズ展津実行委員会事務局 Tel.090-8188-7355(渡邊) アウシュヴィッツ平和博物館 <http://www.am-j.org>

## 三重県石油商業組合加盟ガソリンスタンドから『防犯ネットワークみえ子ども110番』のご案内

10月1日から、三重県石油商業組合に加盟するガソリンスタンドでは、地域社会への貢献と青少年の安全を考え、『防犯ネットワークみえ子ども110番』(セキュリティネットワーク)という活動を始めます。「知らない人から声をかけられた」「乱暴されそうになった」「迷子になった」「ケガをした」など。子どもたちが突然のハプニングに遭遇した時は、三重県石油商業組合加盟ガソリンスタンドを避難所として活用ください。左のカンガルーマークが目印です。



三重県石油商業組合 <http://www.e-net.or.jp/user/sekiryu/>

## フリーマーケット情報

- 【中勢フリーマーケット協会の予定】
- 「津まつり」●とき／10月6日(土)、7日(日)AM9:00～PM4:00●ところ／津署跡地
- 「鈴鹿おいん産業まつり」●とき／10月6日(土)～8日(祝)AM10:00～PM3:00●ところ／白子サンズ
- 「鈴鹿弁天山公園」●とき／10月14日(日)AM9:30～PM3:30●ところ／鈴鹿弁天山公園
- 「鳥羽一郎20周年記念コンサート」●とき／10月14日(日)

AM10:00~PM4:00 ●ところ／鳥羽中央公園  
 「鈴鹿文化会館横」●とき／11月3日(祝)AM9:30~PM3:30  
 ●ところ／鈴鹿文化会館横  
 ●申込方法／出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。参加費等詳しくはお問い合わせください。  
 中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921  
 ●問い合わせ先／安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会  
 Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334  
 『平成13年度会員募集』  
 新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

## みなさんへのお知らせ

### 【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

#### ●認証申請団体

(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

#### 【102】

(1)13年9月10日(2)特定非営利活動法人リペラ  
 (3)今井勇貴(4)津市栗真町屋町482番地の2  
 (5)平成13年11月10日(6)設立  
 (7)この法人は、情報化社会を実現するため、情報教育に関する事業を行い、各地域の市民における情報化を推進し、広く社会の利益の増進に寄与することを目的とする。  
 (平成13年7月17日から平成13年9月14日申請分)

### 市民活動ニュース購読者募集

この「市民活動ニュース」は、みえ市民活動ボランティアセンター(アスト津3階)が、毎月1回発行しています。(25日発行、県内中心に1万部)

発行の目的は、一つは市民活動やボランティアについての情報を県民の方々に知っていただくこと、一つは市民活動団体やボランティアの方々の広報支援です。

現在、県内外の市民活動団体や市民活動等に関心のある個人に送付(無料)しています。若干の余裕がありますので、購読を希望される方には郵送します。希望される方は、郵便番号、住所、氏名、希望部数を明記のうえ、下記まで、ご連絡ください。

三重県生活部NPO担当・みえ市民活動ボランティアセンター  
 担当 長崎禎和

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

http://www.mienpo.net

## 助成金 ニュース

### (財)国際コミュニケーション基金

●受付期間／10月1日(月)~10月19日(金)必着  
 ●助成の目的／国際電気通信に関連した分野の助成・援助を行うことにより、幅広い人々の国際間交流の振興を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的に下記の3分野について助成・援助を行います。

#### 【1、調査研究助成】

●助成の対象となる活動／国際分野を主軸とし、また国内も含めた通信の普及・発展、グローバル化、特にマルチメディア時代を先取りする調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。但し、通信事業者などの本来業務に該当するものは対象外とします。なお、助成・援助の申込者は、個人の場合は調査研究者本人、グループの場合は代表者となります。

●対象事業の期間／調査研究が平成14年4月以降に開始され、平成17年3月までに終了のもの。

●助成の額／1件あたり300万円まで。15件程度。

#### 【2、国際会議開催助成】

●助成の対象となる活動／通信の普及・発展に寄与する国際会議。

●対象事業の期間／平成14年4月~平成15年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

#### 【3、社会的・文化的諸活動助成】

●助成の対象となる活動／情報化社会の動向に即し、電気通信を通じて社会や教育などに貢献する各種の非営利団体(NPO)、非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動、地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など。

●対象事業の期間／平成14年4月~平成15年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで。10件程度。

●応募方法／申込書は下記へ申込むか、ホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／(財)国際コミュニケーション基金 163-0907 東京都新宿区西新宿2-3-1 モノリスビル7階(私書箱第7003号) Tel.03-3347-7094 Fax.03-3347-6439 E-mail info@icf.or.jp  
 ホームページ http://www.icf.or.jp

## 社会福祉・医療事業団

長寿・子育て・障害者基金(特別分)

●受付締切／10月31日(水)消印有効

●助成の対象となる団体／公益法人、社会福祉法人、NPOのほか法人格のない民間団体など。

●助成の対象となる活動／社会福祉を振興するための事業であって、独創性、先駆性があり、普遍性がある事業のうち、次に掲げるテーマに関連する事業、『長寿社会福祉基金』

テーマ1「在宅福祉事業等に従事するマンパワーの養成・研修に関すること」  
 テーマ2「高齢者・障害者の日常生活環境の向上に対する支援に関すること」  
 テーマ3「痴呆性高齢者及び在宅で介護にあたっている家族への支援に関すること」

テーマ4「その他高齢者・障害者の在宅福祉事業等の支援に関すること」  
 『高齢者・障害者福祉基金』

テーマ1「地域の福祉・介護のネットワークの形成に関すること」  
 テーマ2「緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進に関すること」

テーマ3「高齢者、障害者の社会参加の促進に関すること」  
 テーマ4「民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動に関すること」

『子育て支援基金』  
 テーマ1「地域や家庭における子育て支援事業に関すること」  
 テーマ2「青少年の非行防止・健全育成事業に関すること」  
 テーマ3「非行等児童や家庭問題を巡る諸課題等に関する調査研究に関すること」

テーマ4「子育てや非行児童等に関する広報啓発活動に関すること」  
 テーマ5「小・中学生や小・中学生のいる家庭に対する支援事業に関すること」  
 『障害者スポーツ支援基金』

テーマ1「障害者スポーツの育成・強化事業に関すること」  
 テーマ2「障害者の競技スポーツに係る競技用具の研究開発・改良等に関すること」

テーマ3「障害者スポーツに対する意識高揚に関すること」  
 テーマ4「地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進に関すること」

●助成の額／上限500万円

●応募方法／下記まで請求。募集要領はホームページでも見ることができません。なお、同一の事業のため2つ以上の基金に同時応募はできません。

●問い合わせ先／社会福祉・医療事業団基金事業部(『長寿社会福祉基金』『高齢者・障害者福祉基金』は振興第一課、他の二分野は振興第二課)  
 105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷町ビル9階  
 Tel.03-3438-9946 Fax.03-3438-0218 ホームページ http://www.wam.go.jp/wam/ ※『高齢者・障害者福祉基金』、『子育て支援基金』、『障害者スポーツ支援基金』については地方分の助成があります。こちらは三重県社会福祉協議会(Tel.059-227-5145)まで問い合わせを。

## (財)日本国際交流センター リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金

受付締切 / 11月16日(金) 必着

助成の対象となる団体 / 日本国内に活動拠点を置く団体であれば法人格の種類や有無は問いません。組織基盤強化助成の場合のみ、原則として2年以上の活動実績がある団体を対象とします。また、リーバイ・ストラウス社の支社・営業所などの所在地である東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県、北海道に事務所をもつ、あるいはこれらを主な活動地域とする団体を優先対象とします。しかし、先駆的な事業や、全国レベルで波及効果の高い事業であれば、上記以外の地域の団体も対象に含みます。

助成の対象となる活動 / 原則として日本国内に直接的な波及効果のある国内活動。対象分野と今年度の優先課題は次の通りです。

エイズ予防教育・啓発...若い世代を対象とした効果的なエイズ予防教育や啓発を行う事業を優先。

ソーシャル・ジャスティス(社会的公正の実現)...社会的に不公正な立場に置かれた人々の基本的な人権を擁護する活動。今回はこうした立場の人々に対する直接的な支援にとどまらず、問題が起こる根元の解消に勤める活動を優先。

青少年のエンパワメント...日本に住む青少年(国籍不問)が同世代の抱える課題に主体的に取り組んだり、地域社会やグローバルな課題の解決に積極的に参画する活動に対して助成。社会的問題の解決に青少年が自ら取り組む活動を優先。

助成の種類は2種類あります。

(1)プロジェクト助成...事業の形態は不問(例:相談活動、シンポジウムや集会の開催、情報発信、啓発プログラム開発、拠点施設の運営など)

(2)組織基盤強化助成...単独のプロジェクトではなく、団体の組織基盤そのものを拡充し、事業を実施する能力を向上させるための戦略的組織強化に対する助成(会員増強を目的とした新規事業、収益事業の開発、事業全体の質的向上をはかる強化策など)

助成の額 / 総額2000万円、事業あたりの助成額上限200万円。

応募方法 / 応募要項は、団体名・送付先住所、郵便番号、氏名、電話番号を明記しFaxまたはE-mailにて下記まで請求するか、ホームページよりダウンロード。申請書類は郵送、宅配便にて送付。

問い合わせ先 / (財)日本国際交流センター リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金 106-0047 東京都港区南麻布4丁目9番17号 Tel.03-3446-7781(月~金曜AM10:00~PM5:00)

Fax.03-3443-7580 E-mail Levi\_fund@jcie.or.jp

ホームページ <http://www.jcie.or.jp/levi/>

## トヨタ財団市民活動助成

受付期間 / 10月1日(月)~11月20日(火) 消印有効

助成の対象となる活動 / 市民としての自治の形成に役立ち、地域や社会の変革につながる波及性の高い計画や試みを対象とします。対象とする内容の形式(事業の開発・立案、調査・研究、会議、集会、交流、印刷物の作成、出版(注)など)は特に問いませんが、そのプロセスや成果が新たな状況創出につながる提言型の計画を重視します。

(注)出版の応募に関しては次の要件を満たすことが必要です。原稿作成の作業が完了、またはその目処がたっており、若干の手直し程度で出版社に入稿できる状態であること。出版社との間に、出版計画の大筋について合意が得られていること。個人で入手しやすい販売価格に設定されていること。

対象事業の期間 / 平成14年4月1日~平成15年3月31日

応募方法 / 応募用紙は(1)プロジェクト用(出版を除く)と(2)出版用の2種類があります。「プロジェクト」「出版」それぞれ希望の項目を明記し、送料分の切手(1部のみ...普通郵便200円、速達郵便470円、2~3部...普通郵便390円、速達郵便760円)を同封し、11月13日までに下記へ応募用紙を請求するか、ホームページよりダウンロード。応募用紙は簡易書留にて送付。

問い合わせ先 / (財)トヨタ財団市民活動助成係 163-0437

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号

Tel.03-3344-1701~1703

ホームページ <http://www.toyotafound.or.jp/>

## (財)ポーラ美術振興財団各種助成

受付期間 / 10月1日(月)~11月20日(火) 消印有効

助成の対象 / 1、若手芸術家の在外研修、2、美術館職員の調査研究、3、美術に関する国際交流...A、海外美術展、B、国内開催の国際会議  
助成対象事業の期間 / 平成14年4月1日~平成15年3月31日  
応募方法 / A4サイズ入る返信用封筒(140円切手を添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込む。E-mail及びMicrosoft Wordを使用可能な方はE-mailにてart@pola.co.jpまで申請書希望の旨を連絡してください。おってE-mailに申請書ファイルを添付して返信されます。なお、記入済みの申請用紙は必ず郵送してください。

問い合わせ先 / (財)ポーラ美術振興財団 141-0031 東京都品川区西五反田2-2-10 Tel.03-3494-8237(代)

Fax.03-3493-6293 ホームページ <http://www.pola.co.jp/culture/art/index.html>

## ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成

受付期間 / 10月1日(月)~12月3日(月) 必着(12月2日の消印有効)

助成の対象となる活動 / 民間非営利の有志グループが行う、住まいとコミュニティづくりに関する下記7項目の活動。なお、事業記録などの作成・出版、講演会・シンポジウムの開催も含まれます。1、探検・点検型の活動。2、施設の提案・創造型の活動。3、住環境の保全・整備型の活動。4、自然の保護・活用型の活動。5、入居者参加の住まいづくりを目指した活動。6、集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした活動。7、その他の活動。

助成の期間 / 平成14年4月~平成15年3月31日

助成の額 / 総額1000万円。1件当たり原則として100万円上限。

応募方法 / 応募要項・申込書はホームページからダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントして使用。郵送希望の場合は11月22日(木)までに送料分の切手(1部に月140円)を貼り、郵送先を記入した返信用封筒(A4用紙が入る大きさ)を同封し、下記活動助成係まで請求してください。

問い合わせ先 / (財)ハウジングアンドコミュニティ財団

107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階

Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823

ホームページ <http://www2.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/>

## (財)こども未来財団

児童健全育成ボランティア活動振興・助成事業

受付締切 / 12月31日(月) ただし、事業開始のおおむね2か月前までには、提出するようにしてください。助成枠に達し次第締切。

助成の対象となる団体・活動 / 児童健全育成に関わるボランティア活動への取り組みを支援し、地域社会のボランティア活動の活性化を図ることをねらいとして、ボランティアコーディネーターを養成するための研修を実施する社会福祉法人、財団法人、社団法人およびNPO法人  
申込方法 / 申請書は下記へ問い合わせるか、ホームページからダウンロードしてください。記入後、直接財団へ送付。

申込・問い合わせ / (財)こども未来財団 104-0061 東京都中央区銀座3-11-18真帆ビル Tel.03-5550-9460

Fax.03-5550-9857

ホームページ <http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/>

# ▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。「志摩おもちゃ図書館キラキラ星」の世話人の北川博子さんが紹介してくれたのは、鈴鹿市で活動する「すずかぜ」のメンバー、澤内喜代子さんです。

## 鈴鹿に風を起こすために

……澤内さんが市民活動を始めたきっかけを教えてください。  
 最初はPTA活動でした。自分の子どもが通っている幼稚園のPTA。活動を続けるうちに鈴鹿市PTA連合会の副会長を務めることになり、同時に三重県PTA連合会での活動も行っていました。市の役員は県のメンバーを兼任するんです。県のPTA連合会では母親委員会と広報を担当していました。  
 ……やりがいはありましたか？  
 自分のやっていることが、自分の子どもに返るわけですから、やりがいはありましたよ。それに県Pやさらに全国の会議や研修に参加すると、自分たちのしていることがよくわかるし、他地域の情報も得られるでしょう。  
 ……子どもが通う学校のPTA活動ならともかく、県の活動となると自分の子にフィードバックされるという実感が薄いのでは？  
 活動が大きくなりますからね。でも、私が関わっていた頃にPTA活動に適用できる保険のようなものを作ったんです。互助会でPTA同士がお金をかけあって、これなどは自分たちの活動がカタチになったと実感できた例ですね。  
 ……PTA活動のほかに、県が主催した男女共同参画に関するセミナーを受講されたそうですが、それはなぜですか？  
 長い間PTA活動をしてきましたが、そのなかで男女の問題を感じることがあったんです。PTAで実際活動されているのは女性が多いのに、会長は男性だったりするのでしょうか？それで、子どもの卒業をきっかけに受講しました。

鈴鹿市で活動する「すずかぜ」のメンバー



**澤内喜代子** さんに 聞く

……受講したことで印象に残っていることは？  
 ちょうど、県の女性センターができる前で男女共同参画に関連する講座が活発に行われていたんです。そのセミナー以外に、リーダー研修も一期生として受けました。そんななかで印象に残っているのは国内研修として和歌山県で行われた日本女性会議に参加したことですね。とにかく、たくさんの女性が集まって、みんなが澁刺としているのが印象的でした。すごいパワーを感じたんです。  
 ……1995年に北京で開催された第4回世界女性会議にも参加

されたとか？

正直言って、なぜ私が北京へ？という気持ちだったんです。でも世界中から集まった女性のパワーを感じて、もっと女性も積極的に市民活動をしていかなくちゃいけないんだなと思いました。  
 ……その思いが「すずかぜ」設立に繋がるのですか？  
 鈴鹿で講座を受けたメンバーが中心になって設立しました。名前には鈴鹿に風を起こしたいという意味が込められています。  
 ……テーマは男女共同参画ですか？  
 それもありますが、福祉・教育をテーマにしているメンバーが多いです。高齢者のための給食やサロンを開いている方もいますし、愛の首輪の会という動物愛護の活動をしている人もいます。  
 ……現在、メンバー数は？  
 5人です。最終的な目標は鈴鹿を変えていくこと。その思いを強く持ちながら、地元で市民活動を行っています。今はそれぞれの個人活動が忙しいので、すずかぜが主催するイベントなどは行っていません。外からだと、お休みしているように見えるかもしれませんが……それぞれの活動をフィードバックして、考える場所がすずかぜなのでしょう？  
 みんなが違う活動をしていても、集まってくるとすずかぜなんです。例えば個々の活動のなかで問題が持ち上がったとしますよね。時には行政とも話し合わなくてはいけないこともあります。そんな時に「私には無理」と引いてしまう方も少なくありません。すずかぜはそんな問題を考え、解決するために動く場でもあるんです。  
 ……すずかぜが扇の要の役割を果たしているのですか？  
 メンバーも少なくなりましたし、それぞれの活動を行っていますから、すずかぜはもう必要ないのかなと思うときもあるんです。でも、戻ってきて、いろんなことを考える場所は必要ですよな。  
 ……さまざまなイベントも企画されていましたね。  
 「住民が選択した福祉」というドキュメンタリー映画の上映会や、この映画の主人公、秋田県鷹巣町の町長である岩川徹さんの講演会。それに薬害エイズと闘っている川田悦子さんの講演会などを行いました。  
 ……講演依頼はどうやって行ったのですか？  
 直接会ってお願いする事が多いです。自分たちの思いを一生懸命話せば、相手にも伝わるんです。岩川さんはわずかな交通費だけで来ていただきました。  
 ……行政との関係はありますか？  
 イベントを行う際には必ず市役所の方へチラシを持っていきます。担当の方とか参加してくれますよ。評判の良かった講演者の方は行政でも呼んで欲しいと持ちかけるんですが、こちらはなかなか実現しませんね。でも、市の人権啓発課から依頼を受けて、エンパワメント講座の企画から運営まで行いました。どの講座も定員いっぱいになりましたよ。これが実現できたのは担当の方がすずかぜの活動を認めてくださったからでしょう。  
 ……イベントを行うことで開催のノウハウなども身に付くのでは？  
 チケットを売ることでもネットワークもできましたし、映写技師やフィルムの手配など上手にボランティアをひっぱりこめるようになったと思います(笑)。すずかぜ独自のイベントの場合、資金がありません

んからチケットを売るのが大変なんです。でも、売りきりますよ。すごいパワーだなんて自分たちで感心するくらい(笑)。映画会の際はチケットが売り切れて苦情が来たんです。立ち見が出るほど盛況で、なかにはお断りした方もいました。予測がつかないんですよ。……苦情が来ると気落ちするでしょう?

怒られることもありますし、仲間内で問題が起こることもありました。でも、最終的に成功すれば万々歳。

……資金が足らずに自腹を切るようなことは?

川田さんの講演会は、シンガーソングライターであるまのあけみさんのコンサートとジョイントで行ったんです。この時は中心メンバーが私を含めた二人だけのうえ、コンサートに必要な機材費などいつものイベントより予算が高額だったんです。だから、自腹も覚悟してました。夫にも「失敗したらその分を持つから、あなたも覚悟してよ」って話したくらい。

……他のグループと共催したことは?

岩川さんと作家の中山千夏さんのトークを「くわなワイン」と「高齢社会をよくする女性の会よっかいちグループ」と共に行いました。3つの地域で活動しつつも、会場が四日市ですから人を集めるのが難しかったです。他のグループと組むのはやはり大変ですね。

## 私の想いはすべて青少年育成につながっているんです。

……いろいろとネットワークがあるのですね。

こういうことをしているといろんな方と知り合いますから。このネットワークは宝ですね。イベントを行う時助け合ったり、情報交換をしたり。同じような活動をしているくわなワインさんとは始終、情報をやり取りしています。

## 活動を支える「子どもたち」への想い

……澤内さんが特に力を入れている分野は何ですか?

私の想いはすべて青少年育成につながっているんです。すずかぜにしても、地域で行っている青少年育成町民会議にしても、そこにあるのは『今の子どもたちは何かおかしいぞ。なんとかしなくちゃ』ということなんです。

……今、問題になっていることという?

いじめ、非行、不登校…。不登校にしてもいじめなどが原因の場合もあれば、怠学のこともあります。特に怠学の場合は、学校側から登校しなくてもいいと言われることがあるんです。学校に来て悪さをして、他の子に影響を与えるだけだから来なくていいって。そう言われた子どもをきちんとフォローできる家庭ならいいんですが…。そうじゃない場合、それが非行の温床になってしまう。私は保護司もしているので、現実にはそういう姿を見ているんです。

……具体的にはどんな活動をしているのですか?

9月15日に寺家地区青少年育成町民会議主催で「みんな輝いて生きてこに」という講演会を行いました。小学校教師の傍ら、音楽人としてダンスチーム「今村組」を指導している今村克彦先生に話してもらい、今村組にダンスを披露してもらいました。大切なのは、関心を持ってもらうこと。人に話しても「うそでしょう?」と言われるんですよ。現状がわかっていないんですよ。学校のことを地域の方はもっと知らないといけないうし、学校もオープンにして欲しい。昔、学



北海道のYOSAKOIソーランで踊る澤内さん。

校は子どもにとって楽しい場所だったし、行って当たり前の場所でした。でも今はそうじゃない。そのことを考えると学校って一体なんだろうって思います。

……親だけ、学校だけの問題じゃないですよ。

地域もですよ。親の教育も必要。子育て中のお母さんたちと関わっていくことが大事だと私は思っています。実際、おもちゃ図書館や女性センターの保育ボランティアにも参加しています。子育て支援的な講座も必要でしょう。さっき、保護司をしていると言いましたが私の受け持っているのは少年ばかりなんです。それだけ少年犯罪が多いということ。青少年育成に、みんな関わっていかなくてはと感じています。

……確かに子どもたちのモラルについて考え込んでしまうことが多いですね。

先日も歩きながら平気でゴミを捨てている子を見ました。買った物をバリバリと開けながら、包み紙や箱を床に捨てているんです。私たちならゴミ箱の無い所で捨てられないでしょう?私、その子をじ〜っと見ていたんですが、平気なんですね。悪いことだと思っていないでしょう。思っていたら、人に見られたらできませんから。犯罪にしても安易なんですよ。その辺りから変えていかないとダメでしょうね。

## 踊ることも市民活動

……これ以外の活動について教えてください。

今、一番力を入れているのはダンスチーム「めっちゃええやんず」です。北海道のYOSAKOIソーラン参加をメインに、鈴鹿フェスティバル、名古屋どまんなかまつり、安濃津よさこい、大阪のめっちゃはっぴーまつりに参加するのがだいたい、一年のスケジュールです。

……YOSAKOIソーランに関わるようになったきっかけは?

鈴鹿フェスティバルの実行委員会からです。今年は市内に数カ所、会場を設けて行ったんですよ。私は子どもたちを踊らせたいという思いでフェスティバルを行っているんです。私自身、踊るのが好きだということもありますが(笑)。

……実行委員会のメンバーは?

当初は、さまざまな組織からも参加してもらっていたんですが、だんだんと減っていききましたね。今年で5年目になりましたが今は祭りが好き、踊りが好きといった想いが強い人が残っているように思います。その他、青年会議所や市の方も参加しています。市民活動なんです。行政をからめて行っているという意味ではちょっと変わった形かもしれません。

……たくさん活動をしていると時間のやり繰りが大変でしょう? ポツと時間があいた時には何から手をつけようって考えて、すぐに動いてますね。好きでしているから大変だとは思いません。ほとんど毎日、外に出ているので、近所の方は勤めに出ているんだと思っているくらいです(笑)。

澤内喜代子さん(すずかぜ)

住所/510-0254 鈴鹿市寺家8丁目21-18

Tel.&Fax.0593-86-4915

澤内喜代子さんはこの人を **紹介** します。

渡辺照子(わたなべてるこ)さん

ボランティアグループはなの会に参加し、今年5月にいこいの家“麦”をオープンさせた渡辺さん。澤内さんとは北京で開催された第4回世界女性会議へ共に参加した仲間です。

## 編集後記

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。

100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。